

森づくり最前線

東京神奈川森林管理署 津久井森林事務所 森林官 勝川 誠

津久井森林事務所は、神奈川県北西部に位置し、山梨県及び東京都と隣接している相模原市緑区(旧津久井郡津久井町、相模湖町、城山町、藤野町)に所在する国有林952㍏、官行造林地277㍏haを管理しています。

当部内は、山頂標高300m〜700mの低山や丘陵地ですが、場所によっては急峻地や断崖、岩石地、深い渓谷もあり、北側斜面と南側斜面では残雪の様子等気候も違い、植生も変化に富んでいます。

また、山梨県を源とする相模川や道志川の重要な集水域となっており、合流地点の道志川右岸には横浜水道局が管理する「青山水源地」があります。この周辺地域や相模湖等を舞台として繰り広げられる小説、「三太物語(青木茂著)」は、NHKのラジオ放送の人気番組にもなり、小説の英訳版は、「TALES OF SANTA, JAPANESE TONSAWER」というタイトルで世界中の子ども達に愛されています。

さらに、「憲政の神」といわれた「尾崎聖堂」生誕地、記念館が又野地区にあります。東京市長在職中の明治45年、米国ワシントンのポトマック公園に3000本の桜を贈り、「日米友好の証」を築いたことは有名です。

東京・神奈川の大都市圏から、日

常にならない自然を求めて日帰りでも訪れることができる観光地であり、丹沢山系の北東端に位置し、高尾山を起点とする東海自然歩道や、関東ふれあいの道コースなどのハイキングコースは、移り変わる季節の色彩豊かな山肌、奇岩や起伏に富んだ渓谷美、相模湖、津久井湖等が視界いっぱいに広がる絶景、どれもが見どころです。



津久井湖対岸から眺めた城山 (癸国有林)



御料林時代の境界石標

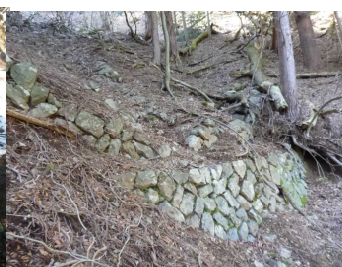
石老山と谷山を結ぶ稜線の北面「谷山国有林」と陣馬山の神奈川県側に位置する「佐野川官行造林地」は、県立陣馬相模湖自然公園に指定され、その他の場所も自然環境保全地域(普通地区)に指定されています。特に、津久井湖右岸の城山「癸(みずのと)国有林」は、小田原城を本城とした北条氏の甲斐への攻防の拠点で、津久井城山風景林として地域の人々に親しまれていることに加え、神奈川県が城山全体を森林公園として整備中であり、歴史的文化史跡の復元・保存や、観光の目玉としての利用が期待されています。

「美林の麓に寒村なし。山高きが故に尊からず。木あるをもつて尊しとす。」この格言は山村の民の金科玉条でした。

この地域は、鎌倉時代から江戸時代にかけて、豊富な森林資源を運ぶ相模川の水運と甲斐や武蔵と相模を結ぶ街道に位置し、林業は重要な産業として発達してきました。江戸時代にはさらに多くの木材、燃料として炭や薪の需要も増え、幕府の命により領民たちが植林し、「御林」として育成・管理をしておりました。そのため急峻な山腹まで人工林が造成された地域になっています。

担当区部内にも「御林」時代の遺産であり樹齢一五〇年を超える江川ヒノキ展示林、大岩を削って作っ

た林道の「切り通し」、石積みの土留めや沢に築かれた石積みの堰堤、御料林時代の石の境界標など、先人達の功績がうかがえます。先人から受け継いだ森林を良好な状態で次世代に引き継ぐため、担当区部内を広く歩き、森林の状況を把握し、境界をよく監視し、安全かつ確実な事業実行に努めていきたいと考えています。



牧野官行造林地 石積みの土留め



牧野官行造林地 石積みの堰堤

発行所 関東森林管理局
編集総務課
TEL(027) 210-1158
FAX(027) 230-1393